「国土を測る」意義と役割を考える懇話会 -「伝える」から「伝わる」へ -

資料２

懇話会の検討内容と目指すところ

懇話会の検討内容

（測量や地図の）
意義や役割の整理、
明確化、体系化

（測量や地図の）
意義や役割の
適切な伝え方

こうした点について、様々な分野の
有識者より様々な意見、提言を
いただくことが目的

実現

解決策を見出すため

・測量や地図の意義や役割が正しく整理されていない
・さらに、その意義や役割を整理した上で国民に伝える取組がなされていない。

その一因として

・測量技術者の仕事が正しく理解されていない。
・測量や地図作りの基盤(ベース)に十分な投資がされていない
・測量技術者になる若い人が減っている

直面している課題

最終的に目指すところ

測量や地図に対する
国民の理解の促進、
イメージアップ

測量技術者に対する
認知度や重要性の
理解促進

（具体的な効果発現イメージ）
- 国民の安心・安全感の醸成
- 学校教育での理解促進
- 測量技術者の労働環境の向上

測量を担う専門家
（プロフェショナル）
の存在は不可欠

方向性

連携

連携

人や世の中に
役立っており、
将来性のある、
重要な業種
である

方向性

方向性

世の中にとって
必要なものであり
機能しなくなると
大変

（特に基盤となる）
測量に対する理解と
必要な体制の確保

連携

測量技術者の新たな
担い手が増加

（具体的な効果発現イメージ）
- 情報基盤の整備による豊かな国民生活の実現
- 電子基準点の十分かつ継続的な運用
- 安定した基本測量、公共測量の実施

（具体的な効果発現イメージ）
- 地域経済の好循環
- 測量業に新規就労する者の増加
- 測量技術者の確保・育成